

# 原発 ゼロ にむかって

2012年3月15日 No.14

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp



挨拶する大江健三郎氏



## 原発はいらない！ 3.11福島県民大集会

「原発はいらない！ 3.11 福島県民大集会」に、健生会・友の会から8人が参加しました。会場の郡山開成山球場には1万6千人が集まり、熱気がみなぎっていました。挨拶された大江健三郎さんは「(原発は)経済的に必要とか、電気がなくなるとか、政治的にどうだとかではなく、倫理的問題として存在してはいけない」と発言されました。一旦事故を起こせば数十年単位で人体に影響を及ぼし、放射能に怯えなくてはならない苦難を住民に強いる原発が、倫理的に許されるはずはありません。また二本松市の農業を営む方は、自然と共存して営む農業に自然エネルギーへの転換の道筋を見出し、「福島から持続可能な社会をつくる」と力強く発言されました。苦難に対峙しながら力強く生きる地元の方々に逆に励まされました。(健生会事務・山根)

## 福島で 東京で 3.11大集会

震災・東京電力福島第一原発事故後、原発なくせの集会は初めての参加でした。各分野からの発言で「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発事故被害弁護団・馬奈木巖太郎弁護士の「加害者である東京電力が被害者の賠償範囲や賠償金を決めている」との訴えを聞き、東京電力や政府が事故に対して無反省・無責任な姿勢に終始していることを痛感しました。集会を通じて、私たちの運動と広範な世論によって、今こそ、全ての原発を止めてなくしていけると実感しました。(東京民医連事務局・松本)



## 震災復興・なくせ原発3.11行動in東京

当日は、井の頭公園に8000人の参加者が集いました。また全国各地で3.11行動が取り組まれ、東京民医連全体で延べ2000人が何らかの取り組みに参加しました。(各地の行動の様子は次号にて)



当日会場にて行われた民医連 & 保団連の「医療相談会」↑ 写真は左上から、向山医師、中泉医師、児嶋医師、園田医師、大場医師